



2019年8月30日

各 位

上場会社名 株式会社トリケミカル研究所  
(コード番号：4369 東証第一部)  
本社所在地 山梨県上野原市上野原 8154 番地 217  
代 表 者 代表取締役社長 太附 聖  
問 合 せ 先 専務取締役 菅原 久勝  
電 話 番 号 0554-63-6600(代表)  
U R L <http://www.trichemical.com>

## 第2四半期業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2020年1月期第2四半期連結累計期間(2019年2月1日～2019年7月31日)の実績について、2019年3月15日に公表した業績予想との差異が生じたのでお知らせいたします。

### 記

- 1 2020年1月期第2四半期(累計)連結業績予想数値との差異(2019年2月1日～2019年7月31日)  
(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回予想(A)	4,220	1,020	1,390	1,040	133.13
今回実績(B)	4,152	1,153	1,777	1,378	176.49
増減額(B-A)	△68	133	387	338	—
増減率	△1.6	13.0	27.8	32.5	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2019年1月期第2四半期)	3,800	1,042	1,155	836	107.11

### 2 差異が生じた理由

当第2四半期連結累計期間におきましては、太陽電池向け材料や一部の半導体向け材料については市況の減速による影響を受けたこともあり、売上高はほぼ当初予想の数値で推移したものの、韓国関連会社 SK Tri Chem Co., Ltd. 向けの材料販売や、最先端半導体向けの新規材料の使用量が增大したこと等を受け、売上に占める製品構成は当初予想より改善したことから、営業利益は前回予想を133百万円上回り1,153百万円となりました。また、それに加え、韓国関連会社 SK Tri Chem Co., Ltd. の業績が想定を上回ったことで持分法利益が増加したこと等により、経常利益は前回予想を387百万円上回り1,777百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前回予想を338百万円上回り1,378百万円となりました。

なお、通期連結業績予想につきましては、米中貿易摩擦の激化等に伴い、当社グループを取り巻く事業環境は不透明さを増しており、当初予想において当第3四半期頃からと想定しておりました半導体市況の回復も先送りされると見込まれること等から、2019年3月15日公表の業績予想に変更はございません。

以 上